



軽い勉強、重い勉強

伝説のTVドラマ「ドラゴン桜」が帰ってきました。それも日曜の夜9時のゴールデンに。ところがNHK放送文化研究所の最近の調査では10代～20代の約半分は「ほぼテレビを見ない」というショッキングな結果が出ています。そこであえて、あの「半沢直樹」の放送枠ですから、受験生本人たちよりもむしろその保護者世代を意識してのことかもしれません。いずれにしろ「東大に行かせてやる！」の決めセリフは健在で、今後が楽しみです。

さて昨年の今頃は、学年最初の定期テストも予定通りにはできない状態でしたが、今年は大丈夫そうです。とはいっても、中学の教科書が改訂された初年度の混乱や、コロナ感染予防に関連しての授業時数不足の影響などがあるかもしれません。早めの準備が必要なのは言うまでもありませんが、テスト直前でもテスト範囲変更などに対する臨機応変な対応が求められます。

もちろん一夜漬けはダメですが、前日の勉強はテストの点数アップに直結します。その勉強とは軽い勉強です。今までやってきたことをなぞる勉強のこと。すでに一度解いたワークやプリントをやってみるだけ。それなら前日でも余裕を持って取り組みますね。それって結局「一夜漬け」のことではないかと思うかもしれませんが、今までやってきた上でのことかどうかが根本的に違う点です。今までやってきた勉強の中には納得できるまで自分の頭で考え抜いた「重い勉強」もあったはず。それをなぞって整理することで、実際のテストの答案に落ち着いてアウトプットができます。逆に「あれもやらなきゃ、これもやらなきゃ。」と思いつつ、ちょっと面倒そうな分野や難しめの問題を後回しにしてきて、それを一気にテスト直前に片付けようとして結局あきらめてしまうのが悪いパターン。

テレビを見ない10代はその時間を何に使っているかというスマホでの短い動画視聴が多いように感じます。その習性でパッと見た目で次々と後回しにするばかりでは、いつまでたっても「重い勉強」にたどり着けないですよ。